



上市町立
相ノ木小学校

校長：野村 芳彦

指導教諭：高橋 真理子
柳井 洋一郎

発表児童：5年1・2組(11名)



本校は、上市町西部に位置し、校区が20地区からなる農村地帯にある。晴れた日には町のシンボルである標高2,999メートルの劔岳を主峰とする北アルプスの山々を仰ぐことができる。近年住宅地として開発が進み、一度は児童数増加になったが、ここ2～3年は児童数が暫減傾向に変わりつつあり、現在の児童数は227名である。「やさしく、かしこく、たくましく」をモットーとし、けん玉大会、相撲大会の開催など、体力づくりと個性豊かな教育を実践している。



発表テーマ

『豊かな水～米作りと水～』

相ノ木小学校校区の豊かな水の恵みについて、米作りという視点から発表します。自分たちの手で、バケツ稲を栽培し、米作りにおける水の役割を知ることができました。さらに、校区に広がる水田が自分たちの生活にどんなかわりがあるのかを調べました。また、校区の水田の水源について調査しました。そこから、地域の人々の協力や苦勞などについても理解しました。以上についての調査記録をもとに自分たちの考え方をまとめました。

高橋 真理子 先生より

豊かな水の恵みから、水が結ぶ「つながり」を感じて

子どもたちは、5年生になって米作りからみた相ノ木地区の水の豊かさを探ろうと総合的な学習の時間の中で「水みらいプロジェクト」に参加してきました。

校区の水田での田植え・稲刈り体験、バケツ稲栽培、校区の用水巡り、水のふるさと調べなどの活動に取り組んできました。そんな中で、町や校区の方々に協力をいただきながら、より自分たちの相ノ木のよさに気づいていった子どもたちでした。

プロジェクトを進める中で、水が結ぶ「つながり」というキーワードにたどり着きました。自然(山、川、用水路、田、海…)のつながり、地域の人々(用水路設備、管理、保全の協力)のつながり、歴史(昔から相ノ木に住む人々の苦勞・工夫)のつながりの中で、今の自分たちの暮らしがあることに気づくことができました。

このプロジェクトを機に、自分たちも豊かな水の恵みを伝えていくつながりを明日の相ノ木っ子につないでいってほしいと願っています。



▲米作りを通して、稲を育てる他にも、水が私たちの生活を支えていることを知りました。



▲水田の土を通る間に水がきれいになると聞き、どのくらいきれいになるか、実験しました。



▲校区を流れる用水の上流から水を採取して、水質検査をしました。



▲校区の方が協力して用水を整備し、守り続けていることを教えていただきました。



▲ポスターや新聞を作り、水田や用水について調べたことを発表しました。



▲森の寺子屋の活動で、森が水を貯め、きれいにすると聞き、どんぐりを、大きく育てて、植えることにしました。

考えたこと! 感じたこと!



相ノ木の豊かな水を伝えよう

竹林 裕貴 (5年生)

「水みらいプロジェクト」に取り組んで、米作りだけでなく、ほくたちの暮らしが相ノ木の「きれいな水」に支えられていることを知りました。ほくたちは、その水をずっときれいに保つことを伝えていくために「どんぐり作戦」を始めました。10年後、20年後のふるさとがどんぐりの木で空気も水もきれいになってほしいです。

身近な水の大切さ

土肥 由季 (5年生)

これまで、水は、毎日どこにでもあって当たり前に見えるものだと思っていました。しかし、「水みらいプロジェクト」に参加して、水は、人にも植物にも動物にも欠かすことのできない大切なものだということがわかりました。そして、私たちの身の回りにおいて、水のように生活を支えるかけがえのないものをいろいろとさがしてみたいと思いました。

学習テーマの設定

水の力をもっと知りたい

私たちは「豊かな水の力知り隊」「豊かな水の力ありが隊」です！米作りから見た水の力をレポートします。



バケツ稲を育てる

毎年相ノ木小では5年生が米作り体験をします。5月の田植え、バケツ稲づくりにも取り組み、夏休みも学校の周りの水田を手本に水の管理や世話を続け、9月には稲刈り・脱穀をしました。

学習の展開

田の水は生活にも大切

稲は光合成して酸素を送り出しています。また田んぼの水は洪水を防いだり、きれいな地下水になったりします。広がる田の豊かな水は、稲の成長だけでなく、人の生活も支えているんだ！



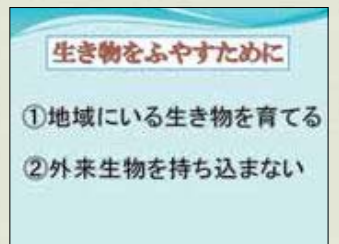
豊かな水は苦労のおかげ

相ノ木に豊かな水を運ぶ白岩川も上市川も、水源は大辻山です。地域の人々が長年相談を繰り返して用水や水田を整え、苦労して今の水田ができ、大辻山の水が相ノ木に届けられています。



人が協力して水を守る

どの地区の水田にも水が行きわたるように、分水路で水の量を調節する人、用水路を清掃してきれいに守る人などがおられます。そこには人と人とのつながりがあることがわかりました。



水を生かした米作り

相ノ木の水の水温やpH、COD、また田んぼの生き物を調べました。米作りに適したきれいな水で、農家の方は水の特徴を生かし、水に合った米作りにも工夫されていました。

思いを未来へつなごう

心に水が結ぶ「つながり」というキーワードが浮かびました。自然・地域・歴史のつながりの中で、私たちは水に恵まれています。水ありがとう！の思いを未来にもつないでいきたいです。

